



子どもたちも喜んで参加します

われら仲間たち 8

上米沢協和会（平武彦会長）は、上米沢地区の若い人たちが構成され、山車の責任者を担ったり、地域の子どもたちを見守ったりしています。

主な行事の一つに長年続けている「アユつかみ大会」があります。今年も8月6日に、地域の子どもたちを集めて、上米沢児童公園で行いました。歓声をあげながらアユを捕まえていました。

平会長は「最初は池や川で釣りを行っていたが、危ないので、アユつかみ大会に替わった。ここまでやってこられたのは地域みんなの協力があってこそ。これからも、地域の行事を企画して地域の絆を深めたい」と語ります。

上米沢協和会

ひとまち ががやいて

8

今年9月18日は、^{たなかだてあいきつ}二戸市の先人田中館愛橘博士の150回目の誕生日です。博士は江戸時代安政3年^{へいみんさいしゅう}生まれ。平民宰相^{はらたかし}と言われた原敬や北海道大学の初代総長の^{さとうしやうすけ}佐藤昌介も同年生まれで、新聞などで岩手県の先人生誕150年を記念する特集が組まれています。

日本の科学技術の父と言われる愛橘博士の業績は、重力や地磁気の研究、航空研究所の創設、メートル法の整備、地震の調査など広範囲にわたり、日本の科学の基礎を作ったものばかりです。ローマ字表記の普及や人材育成にも功績があって、簡潔に紹介することは本当に難しい偉大な人です。

こうした偉大な業績と志を出身地の二戸市こそが受け継いで行かなければならないと活動しているのが田中館愛橘会です。愛橘会は生誕150年の区切りのこの年、さまざまなイベントを開催し博士のことを皆さんに伝えようとしています。



愛橘先生はいつまでも二戸を見守っています

二戸まつり在八町内会の山車に注目ください。正面も見返しも愛橘博士が主人公です。9月2日の行列では、会員自らが博士と交流のあった世界の著名人に仮装しています。国際的活躍を伝え、子どもたちと一緒に参加することで博士の志が二戸の未来へ継承されることを願っているのですね。

ハッピー・バースデー 愛橘博士

第8回三浦哲郎文学を読む会

- ▽テーマ作品 「村と村人」^{かじか}「河鹿」
- ▽期 日 9月10日(日)
- ▽時 間 午後2時～4時
- ▽場 所 ゆのはな交流館
- ▽その他 申し込み不要

この欄の問い合わせ 市まちづくり推進課 ☎25-5411 (シビックセンター内) まで